

7. 学術委員会報告

第13回日本数学会国際研究集会(MSJ-IRI)のテーマ採択

第13回日本数学会国際研究集会(MSJ-IRI)(2004/2005年度開催)の公募に対し、次の3件のテーマの応募がありました。(順不同)

1. 保型形式とL関数
2. モジュライ空間と数論幾何
3. 漸近解析と特異性

この3件応募案について、2002年5月25日の公募選考委員会が開かれました。審議の結果、向井、森脇両氏提案の「モジュライ空間と数論幾何」が第一位案と決定し、2002年6月22日の理事会の承認を得て同提案が採択されました。

選考委員会での審議を簡単に記しておきます。3つの提案とも、十分水準を満たす提案であり、その意味で、どの提案が採用されてもおかしくないと言う点では選考委員会の参加者の意見はほぼ一致しておりました。その中で、特に、向井氏、森脇氏の提案は当該分野の分野としての成熟度と、日本人数学者のこの分野に対する国際的貢献度、および現在までの海外の研究者との研究交流の進展のどれをとっても質が最も高く、さらに時期を得た提案であるという事から、1位に押す声が大勢でありました。ただ、過去のMSJ-IRIにおいては、解析分野の提案と採択がすくなく、その意味で3番目の提案「漸近解析と特異性」のテーマを押す意見も少なからずありました。

採択された研究集会の概略を記しておきます。

第13回日本数学会国際研究集会の概略

- ・研究集会名称： Moduli spaces and Arithmetic geometry(モジュライ空間と数論幾何)
- ・開催予定地： 京都大学数理解析研究所
- ・開催予定時期： 2004年9月頃
- ・組織委員長名： 向井 茂(京都大学数理解析研究所)、森脇 淳(京都大学大学院理学研究科)
- ・組織委員会名簿： 森 重文(京大数理研)、向井 茂(京大数理研)、宮岡洋一(東大数理)、

中村 郁(北大理)、齋藤政彦(神戸大理)、森脇 淳(京大理)、加藤文元(京大理)

規定により、選考委員会の正式参加メンバーを公表しておきます。

坂内英一、鶴飼正二、吉田朋好、村田 実、二木昭人、重川一郎(以上選考委員)、宮岡礼子(国際交流委員会委員長)、齋藤政彦(学術委員会委員長)。

(学術委員会委員長 齋藤政彦記)